

3D技術と融合し新展開

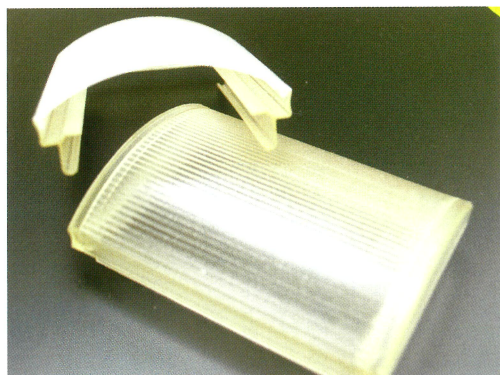
サンワ製作所（さいたま市西区）

プラスチック成形加工…プラスチック造形品におけるワンストップサービスの高速化技術の開発

長年つちかっていたプラスチックの加工技術と、今話題の3Dプリンターによる最新造形技術を融合し、プラスチック造形品におけるワンストップ

サービスの高速化技術の開発を進めている。従来は商品がプラスチックの板素材そのものから削り出して造形しており、切削の形に合った刃物の注文から作業工程に入るのが常だった。本事業で3Dプリンターを導入

し、3D造形品に二次加工、三次加工を施していくことにより、複雑形状の切削という行程が短縮化できるようになった。



上の弓型になった乳白色の部分が従来技術によるもの。足の部分は3Dプリンターによる造形

写真の完成品（プラスチックの照明カバー）は、照明にはめ込む足の部分の凹凸が3Dプリンターによるもので、上部の弓型に曲がった乳白色の意匠面は従来の工法による部分である。2つを融合・合体させて1つの完成品として製品提案することにより、プラスチックそのものから削り出していたときと比べて、

大幅に納期が短縮できる上、長年の経験に裏打ちされた高度な技術による美しい意匠もそのまま継続できるという。

最新の3Dプリンターによる造形に、より高付加価値な意匠を組み合わせ、今後の受注拡大を見込める体制作りにも着手している。

【株式会社サンワ製作所】

本社・工場はさいたま市西区三条町19。村上忠彦代表取締役社長。1987年設立。電子基板のモックや照明機器のカバーをはじめとするプラスチック板加工品の生産を、造形・研磨からプリント、着色等まで一貫して行っている。アクリルシートのソリューションカンパニー。